

## Report

タイトル：カンントリーレポート

講師：

内容：16名の研修生は、約20分間自国の教育政策について報告しました。その後、10分ほどの質疑応答があり、活発な議論が交わされました。教育政策の策定の仕組みやカリキュラムの内容に関心が寄せられました。発表後には、吉田先生と黒田先生からコメントが寄せられ、研修生は自国の状況を改めて考える機会となりました。発表の内容を一部報告します。

バングラデシュ：Mr. Zakazia Md Golam

まず、教育の歴史と政策など、バングラデシュの教育の概要を紹介しました。SDG 4に沿ったバングラデシュの教育政策の目標と枠組みについて説明しました。また、課題や、教育政策開発へのJICAの関与についても議論しました。

スリランカ：Mrs. Roshini De Silva

まず、スリランカの地理的・社会経済的状況について紹介されました。そして、スリランカの教育について、識字率、政府への教育投資、Covid-19の教育への影響などの情報も紹介されました。また、現在の教育問題について、様々な側面から議論しました。これらの課題から、教育政策の策定における政府の役割が強調されました。

パキスタン：Mr. ZULFIQAR SAMIN

まず、パキスタンの教育課題とこれらの課題に対する政策に焦点が当てられました。また、インクルーシブ教育の教訓について議論し、教育政策の策定に活用されている研究成果についても説明されました。

